

<白金標準、8200 円以下はロングポジションのエントリーチャンス・・・>



(出所：オアシス)

ドイツ大手自動車会社である VW はグループ全体で 2025 年の純利益が前年比で 37.8%減となり、ドイツ国内で 4 工場の閉鎖に伴い 5 万人のリストラを発表している。また BMW もドイツ国内で 8000 人の自主的な退職を集うなど、自動車触媒需要が多いプラチナにとっては悲観的な要因になっている。しかし WPIC は、自動車触媒需要の低下を宝飾需要や AI 関連の半導体需要、また水素社会における燃料電池の需要が補う形となると中国上海プラチナウィークで指摘している。特に中東情勢における原油高に伴う金利上昇が、金価格の戻りを抑え、為替市場でも日米協調介入に伴う円高の洗礼を受けた円建て商品価格の下落など、白金標準先物は 8586 円まで戻りを示すも本日は 8187 円まで下値を試している。

特に 7 月の値動きは、一時 7714 円まで下値を模索するも、以降は 8200 円～8400 円のレンジを主体に、8200 円以下は一時的な安値となり、逆張りの下値を見せている。そのため金標準先物と違い、下値を切り下げる値動きではなく、8200 円以下で下げ止まる値動きを続けており、金標準先物の下落に追随して 8200 円を割り込む場面は、ロングポジションのエントリーチャンスに思える。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が維持し、**シグナル**は上昇している。RCI では**短期**が切り下げるも、**長期**は上昇している。特に指数平滑移動平均線のレンジが縮小しており、レンジ離脱の値動きが起こり易く強気維持の動きに思える。

レポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 5,175,000 円(2026 年 8 月 3 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 5 倍から 50 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 97,680 円(2026 年 8 月 3 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>